



正人会 会報

平成24年春 第3号

発行者：和歌山市議会 絆クラブ

編集：和歌山市議会議員 戸田正人

連絡先：〒640-8156 和歌山市七番丁23 和歌山市議会絆クラブ
073-435-1115

～カーブミラー調査～

「カーブミラーが根元から折れJR軌道を塞いで倒れている。危険と思い住民数人とで折れたカーブミラーを安全な場所に移動した」との電話が入りました。

もし、その折れたカーブミラーが軌道上に誰も気づかず放置され、そこに電車が通るとなど考えるとゾッとするものです。



画像は市道とJR軌道が
並行して走っており、市

と軌道との間が2m程度
しかない事例です。

今回、事故には至りませんでした。このような危険箇所（カーブミラーが倒れて軌道を塞ぐ恐れがある）が和歌山市内にまだたくさん存在するのではなかろうかと言う懸念から、当局に調査するよう指示を出させていただきました。



和歌山市が管理するカーブミラーは約10000ヶ所あり、そのうちJR、南海、貴志川、各線の沿線上で隣接する和歌山市カーブミラーの主要部分（11ヶ所）を現地調査してもらったところ、画像で確認できますように、カーブミラーと軌道の間カーブミラーが倒れても軌道を塞がない程度の幅員がある個所もあれば、その間にフェンスなどが設けられ、倒れ込み防止につながるような工夫もされている部分も見受けられました。

基本的期は危険性のある個所はごくわずかだったのですが、今後、危険カーブミラーと見なした個所は、まず支柱を調べ（犬のおしっこなどで腐食しているのが多く見られる）、そして必要あれば支柱補強工事、取り換え工事などをする予定し、「大事故になるのを未然に防ぐ」を念頭に調査を継続いたします。

～（仮称）和歌山南インターチェンジ～

和歌山市は平成23年12月22日開催の和歌山市政策調整会議にて「和歌山市南インターチェンジ」の必要性を鑑み、設置に向けての検討を行っていくことに決定しました。

(森小手穂・元和歌山東ゴミ処理上付近)

追加インターの必要性と動向

- ①幹線道路網の向上
- ②防災機能の強化
- ③東南部・南部地域の活性化
- ④広域的な高度医療体制などが挙げられ



今後、予算総額29億4千8百万円を予定し。平成25年度～平成30年度の6年間を事業期間とし、当初の2年間で土地取得、残り4年間で工事と仮定して進める方針です。

和歌山市内での道路整備はまだまだ必要箇所が多くあり、道路特定財源が廃止されて約3年断ちますが、都会の道路事情と地方の道路事情はまったく異なり、地方の私達にとって道路というのは経済面においても生活面においても、命の繋がりと言っても過言ではないのです。

利便性だけでなく、災害時における避難経路であり、救助車両乗り入れ経路、経済流通の拠点となり、ひいては生活のための命の道路といっても過言ではないと思います。

道路特定財源の復活も含め、私たち地方の道路状況や必要性を政府は真摯に考えてもらい道路財源を地方独自の道路財源として移譲して頂きたいものです。

～わかやまのゆるキャラ～

和歌山県は「紀伊半島大水害復興・そろそろ和歌山へ行ってみようキャンペーン」を東京首都圏を中心にPR活動しています。



わかやまパンダ大使に任命されているタレントの岡本玲さん（和歌山市出身）などもPR活動に参加し、台風12号の災害から復興と観光のために首都圏の方々に積極的に呼びかけています。

そして、なんと言っても彦根市の「ひこにゃん」や奈良市の「遷都くん」をはじめ、去年は熊本市の「くまもん」が全国ゆるキャラ大会で

優勝するなど、全国的な「ゆるキャラブーム」がおこり、和歌山もそれに便乗しようと制作したのが、こちら！和歌山市のキャラ「吉宗くん」、和歌山出身の殿様「暴

れん坊将軍」こと8代将軍徳川吉宗のゆるキャラです。かわいいかな・・・！？特徴ないかな・・・！？

他にも、2015年（H27）に開催予定の「紀の国わかやま国体」で紀州犬がモチーフのゆるキャラ、名前は「きいちゃん」もいますよ！



東日本大震災で被災された地方もそうですが、台風12号の被害を受けながらも勇



ましく立ち向かっている和歌山がここに 있습니다。

和歌山県内のみなさんをはじめ、全国のみなさんに和歌山へ観光に起こし頂き経済協力をして頂けることが何よりもの勇気となり

元気となります。

「**そろそろ和歌山に**」を合言葉に一丸で頑張っています！

和歌山市議会議員 戸田正人のブログへリンクします

和歌山市議会議員 戸田正人

検索